



5月号



令和8年4月24日
横浜市立 星川 小学校
校長 五十嵐 玲
TEL.332-2101 FAX.331-5052

WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hoshikawa/>



「自分にできることを考え 行動する力」

ふくこうちょう まつだ けいこ
副校長 松田 圭子

風薫る、爽やかな5月を迎えました。新年度が始まり、1か月が過ぎました。星の子たちの元気な声が校舎や校庭から聞こえてきます。登校時に正門に立っていると元気よく「おはようございます。」「さようなら。」と進んで挨拶をする姿にたくさん出会います。挨拶を交わすたびに子どもたちから元気をもらえ、挨拶は人と人をつなぐコミュニケーションだと改めて感じます。

今年度、旭区中沢小学校から星川小学校副校長に着任いたしました 松田 圭子と申します。保護者・地域の皆様のご協力をいただきながら、星川小学校のよりよい教育活動への取組を進めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

先月の学校だよりの学校長挨拶の中で、今年度の本校重点目標のキャッチフレーズ「みんなちがって、みんなスター」をお伝えしました。今年度星川小学校に在籍する334人一人ひとりが自分らしさに気づき、オンリーワンの輝きを放てるよう取り組んでおります。

「みんなちがって、みんなスター」につながる4月の校内で見つけた輝く星の子の姿について紹介します。ある朝、登校後に1年生の教室で6年生が朝の支度の手伝いをしていました。そんな時に1年生のあるお子さんが探し物をしていて、2人の6年生が優しく声をかけながら一緒に探してくれました。見つけることはできないでしたが、6年生が教室に戻った後に1年生が「6年生の教室が近くてよかった。」と呟いていました。

自分が困っているときに寄り添ってくれる存在がいたことは、1年生にとって何より心強かったことと思います。そして、1年生の思いを想像し、自分たちにできることはないか考えて行動できる6年生の姿は最高学年として立派でした。

「1年生の朝の支度を手伝う」という大枠は決まっても、実際に相手が何を必要としているか判断し、自分にできることはないか考える場面がでてきます。そして、自分にできることは人によって違います。明るく積極的にかわることが得意な人もいれば、そっと側にいて見守ることが得意な人もいます。自分らしさを大切にしなが「自分に何ができるか」考えることは、これからの予測困難な時代を生きる子どもたちに必要な力だと考えます。これからも様々な教育活動の中で一人ひとりが輝く「星の子」を育成できるよう教職員一同取り組んでまいります。

《お知らせ》

今年度、本校は「交通安全推進校」に選定されました。そこで、これまで以上に児童への交通安全教育の充実を図ったり、地域や保護者の方々と連携した交通安全対策を積極的に進めたりしていきたいと考えています。また、学校だより裏面はA3→A4で星の子の様子をお伝えします。